

北九州市監査委員 江本 均
同 廣瀬 隆明

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均、同 廣瀬 隆明、同 後藤 雅秀（平成29年2月9日任期満了）、同 三宅 まゆみ（同前）により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、次の団体を抽出し、平成27年度及び平成28年度（平成28年4月から同年6月末日まで）の事業における出納その他の事務の執行を対象とした。

- (1) 公益財団法人北九州市環境整備協会
- (2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会
- (3) 株式会社北九州ウォーターサービス
- (4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成28年7月21日から平成28年12月21日まで

4 事業の概要及び監査の結果

(1) 公益財団法人北九州市環境整備協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市環境整備協会（以下「整備協会」という。）は、廃棄物の適正処理並びに環境衛生に関する調査、研究、検査及び相談等を通じて生活環境の健全化を推進し、地域住民の福祉の増進に寄与することを目的として、昭和57年3月18日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

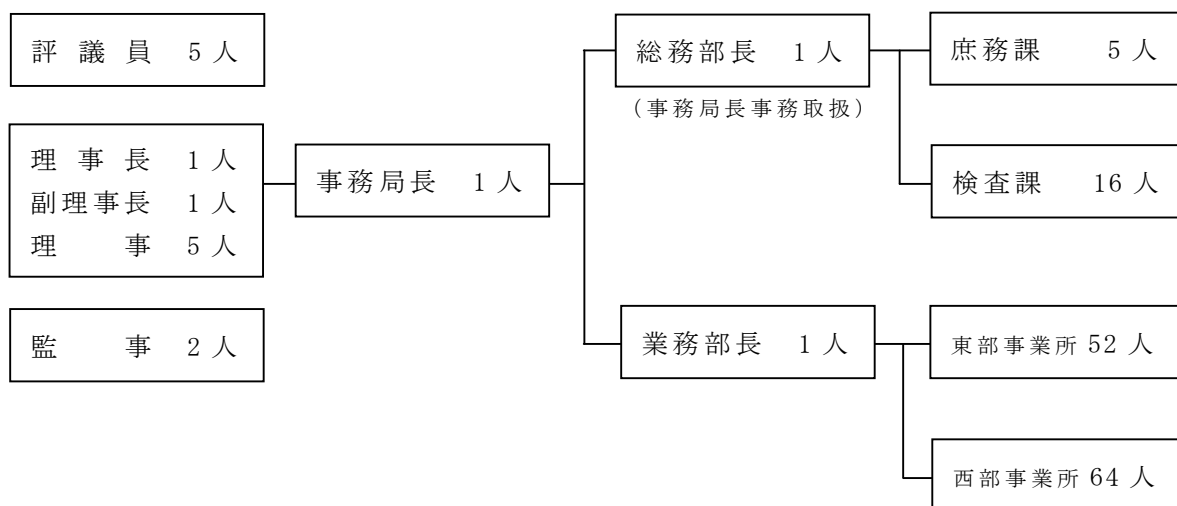
(イ) 現況

整備協会は、前記の事業目的を達成するため、一般廃棄物の適正処理及び減量並びに環境美化に関する事業、環境衛生に関する調査・研究・検査及び相談等に関する事業等を実施している。業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

整備協会の組織は、次のとおりである。

(平成28年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、整備協会の設立に当たり、基本財産1,000万円のうち300万円(30%)を出捐するとともに、市内の家庭から排出される家庭ごみ及び資源化物の収集運搬業務、環境検査分析業務等を委託し、平成27年度は7億3,488万円、平成28年度は6月までに1億7,578万円の委託料を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

整備協会の平成27年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は4,545万円で、前年度と比べると2,614万円増加した。

収益は、前年度と比べ、296万円の減少となった。これは、環境検査分析事業収益が183万円増加した一方、廃棄物適正処理事業収益が609万円減少したことなどによるものである。

また、費用は、前年度と比べ、2,910万円の減少となった。これは、経常費用のうち、廃棄物適正処理事業費が減少したことなどによるものである。

今後とも、廃棄物適正処理事業において、市からの受託業務を適正に行うとともに、環境検査分析事業においては、検査や管理の業務を適正に行い、環境学習や国際協力にも寄与しつつ、健全な収支の維持に努められることを期待する。

表1 業務実績

(金額は税抜き)

事業名		平成26年度		平成27年度	
		件数等	収入(円)	件数等	収入(円)
検査 分析 事業 収入	浄化槽水質検査	1,229 検体	9,404,000	1,289 検体	9,840,300
	浄化槽法定検査	1,581 基	10,007,000	1,565 基	9,896,500
	簡易専用水道検査	786 基	13,182,740	771 基	13,356,443
	飲料水検査	928 検体	9,655,300	723 検体	6,960,900
	工場廃棄物等検査	695 検体	11,088,123	702 検体	12,309,739
	放射線測定	212 検体	1,991,593	209 検体	2,065,800
	小計		55,328,756		54,429,682
	廃棄物処分場排水処理 施設運転管理	1 件	10,307,350	1 件	12,033,983
	廃棄物処分場分析	1 件	16,413,990	1 件	12,712,849
	焼却工場に係る分析	1 件	9,500,000	2 件	7,600,000
	ごみ質等に係る分析	4 件	3,250,000	2 件	2,250,000
	公共用水域水質調査	2 件	33,230,000	2 件	32,330,001
	工場・事業所排水試験	1 件	11,700,000	1 件	12,000,000
	下水道工事に伴う水質 検査	1 件	219,000	1 件	292,000
	石油備蓄基地の飲料水 等検査	1 件	2,084,600	1 件	2,320,700
	病院排水水質検査	4 件	2,185,000	5 件	2,192,400
	pH検査	1 件	522,500	1 件	448,000
	国際研修	13 件	39,902,507	10 件	42,297,551
	環境学習	3 件	2,003,400	3 件	2,896,590
	その他分析	13 件	10,303,429	13 件	14,978,411
小計		141,621,776		144,352,485	
家庭ごみ収集運搬	1 件	667,267,200	1 件	667,267,200	
紙パック・トレイ選別	1 件	6,054,000			
市民いっせいまち美化	1 件	435,000	1 件	400,200	
小計		673,756,200		667,667,400	
合計		870,706,732		866,449,567	

表2 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成27年度 決 算 額 (a)	平成26年度 決 算 額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	196,810,737	202,144,416	△ 5,333,679
貯 蔵 品	1,088,963	1,133,029	△ 44,066
前 払 費 用	459,308	0	459,308
仮 払 金	1,759,660	1,103,080	656,580
未 収 金	146,859,332	137,719,313	9,140,019
流 動 資 産 合 計	346,978,000	342,099,838	4,878,162
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	75,170,947	71,144,979	4,025,968
減 価 償 却 引 当 資 産	210,205,944	182,903,894	27,302,050
車 両 購 入 積 立 資 産	33,220,680	26,948,680	6,272,000
事 業 所 改 築 修 繕 積 立 資 産	6,131,782	6,131,782	0
西 部 事 業 所 建 設 積 立 資 産	6,272,000	0	6,272,000
検 査 機 器 維 持 管 理 積 立 資 産	6,867,000	0	6,867,000
特 定 資 産 合 計	337,868,353	287,129,335	50,739,018
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	84,447,972	88,888,252	△ 4,440,280
建 物 付 属 設 備	50,239,050	57,204,080	△ 6,965,030
構 築 物	47,976,598	50,773,944	△ 2,797,346
車 両 運 搬 具	63,401,646	76,116,022	△ 12,714,376
機 械 装 置	7,499,429	8,092,246	△ 592,817
備 用 品	2,551,203	2,396,108	155,095
検 査 用 機 器	1,075,838	1,525,401	△ 449,563
一 括 償 却 資 産	108,334	216,667	△ 108,333
電 話 加 入 権	1,326,550	1,326,550	0
ソ フ ト ウ ェ ア 開 発 費	15,834	205,834	△ 190,000
車 両 リ サ イ ク ル 預 託 金	397,040	397,040	0
保 証 金	60,480	60,480	0
長 期 前 払 費 用	1,377,924	0	1,377,924
そ の 他 固 定 資 産 合 計	260,477,898	287,202,624	△ 26,724,726
固 定 資 産 合 計	608,346,251	584,331,959	24,014,292
資 産 合 計	955,324,251	926,431,797	28,892,454
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	51,738,402	58,217,328	△ 6,478,926
前 受 金	420,000	251,500	168,500
仮 受 金	400	157,932	△ 157,532
未 払 消 費 税 等	14,890,800	29,016,700	△ 14,125,900
預 り 金	4,727,990	4,719,567	8,423
流 動 負 債 合 計	71,777,592	92,363,027	△ 20,585,435
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	75,170,947	71,144,979	4,025,968
固 定 負 債 合 計	75,170,947	71,144,979	4,025,968
負 債 合 計	146,948,539	163,508,006	△ 16,559,467
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産	0	0	0
2 一 般 正 味 財 産	808,375,712	762,923,791	45,451,921
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(262,697,406)	(215,984,356)	(46,713,050)
正 味 財 産 合 計	808,375,712	762,923,791	45,451,921
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	955,324,251	926,431,797	28,892,454

表3 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額 (a)	平成26年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[2,506]	[2,500]	[6]
基本財産受取利息	2,506	2,500	6
② 事業収益	[866,449,567]	[870,706,732]	[△ 4,257,165]
廃棄物適正処理事業収益	667,667,400	673,756,200	△ 6,088,800
環境検査分析事業収益	198,782,167	196,950,532	1,831,635
③ 雑収益	[2,066,398]	[768,082]	[1,298,316]
受取利息	49,494	42,779	6,715
雑収益	2,016,904	725,303	1,291,601
経常収益計	868,518,471	871,477,314	△ 2,958,843
(2) 経常費用			
① 事業費	[778,377,914]	[807,755,782]	[△ 29,377,868]
廃棄物適正処理事業費	(599,876,301)	(623,515,646)	(△ 23,639,345)
給料	380,371,978	377,244,872	3,127,106
臨時雇賃金	13,998,874	24,067,370	△ 10,068,496
退職給付費用	900,837	618,526	282,311
退職共済掛金	288,000	288,000	0
福利厚生費	74,564,004	77,091,645	△ 2,527,641
旅費交通費	1,288,429	1,703,760	△ 415,331
減価償却費	22,060,931	21,738,525	322,406
通信運搬費	627,478	700,484	△ 73,006
消耗什器備品費	435,100	462,743	△ 27,643
消耗品費	3,112,438	3,145,012	△ 32,574
修繕費	44,939,090	43,323,755	1,615,335
印刷製本費	90,000	132,917	△ 42,917
燃料費	31,118,951	38,837,448	△ 7,718,497
光熱水費	7,028,896	7,067,457	△ 38,561
使用料及び賃借料	878,240	906,120	△ 27,880
保険料	7,081,276	13,454,930	△ 6,373,654
租税公課	3,925,498	4,357,451	△ 431,953
負担金	48,800	46,800	2,000
委託費	6,768,335	7,738,242	△ 969,907
手数料	246,984	487,423	△ 240,439
雑費	102,162	102,166	△ 4

科 目	平成 2 7 年度 決 算 額 (a)	平成 2 6 年度 決 算 額 (b)	差 引 (a)-(b)
環境検査分析事業費	(178,501,613)	(184,240,136)	(△ 5,738,523)
給 料	77,115,605	77,096,445	19,160
臨 時 雇 賃 金	202,948	33,491	169,457
退 職 給 付 費 用	2,808,148	2,666,005	142,143
退 職 共 済 掛 金	1,488,000	1,584,000	△ 96,000
福 利 厚 生 費	12,345,067	13,342,233	△ 997,166
旅 費 交 通 費	14,952,629	19,525,293	△ 4,572,664
減 価 償 却 費	6,688,080	6,506,876	181,204
通 信 運 搬 費	1,831,696	1,177,839	653,857
消 耗 什 器 備 品 費	416,950	190,780	226,170
消 耗 品 費	8,573,103	9,519,758	△ 946,655
修 繕 費	1,682,056	1,819,682	△ 137,626
印 刷 製 本 費	219,073	378,980	△ 159,907
燃 料 費	586,166	712,844	△ 126,678
光 熱 水 費	2,356,477	2,856,100	△ 499,623
使用料及び賃借料	17,760,979	24,456,066	△ 6,695,087
保 險 料	959,052	1,316,481	△ 357,429
諸 謝 金	2,344,473	3,518,403	△ 1,173,930
租 税 公 課	1,303,583	238,867	1,064,716
負 担 金	469,507	518,986	△ 49,479
委 託 費	12,509,302	16,364,116	△ 3,854,814
手 数 料	283,317	81,285	202,032
海 外 資 材 費	11,523,883	280,608	11,243,275
雑 費	81,519	54,998	26,521
② 管理費	(42,958,384)	(44,309,357)	(△ 1,350,973)
役 員 報 酬	6,538,544	6,509,429	29,115
給 料	20,505,168	19,978,438	526,730
退 職 給 付 費 用	316,983	481,670	△ 164,687
退 職 共 済 掛 金	240,000	144,000	96,000
福 利 厚 生 費	6,282,891	6,621,314	△ 338,423
旅 費 交 通 費	44,214	80,209	△ 35,995
減 価 償 却 費	286,634	501,875	△ 215,241
通 信 運 搬 費	387,446	385,578	1,868
消 耗 什 器 備 品 費	264,480	132,810	131,670
消 耗 品 費	214,123	391,778	△ 177,655
修 繕 費	114,950	415,271	△ 300,321
印 刷 製 本 費	141,500	203,000	△ 61,500
燃 料 費	59,087	71,969	△ 12,882
光 熱 水 費	1,103,763	1,264,450	△ 160,687

科 目	平成 2 7 年度 決 算 額 (a)	平成 2 6 年度 決 算 額 (b)	差 引 (a)-(b)
使用料及び賃借料	1,993,233	2,074,976	△ 81,743
保 険 料	188,630	300,453	△ 111,823
諸 謝 金	41,938	0	41,938
租 税 公 課	853,550	973,850	△ 120,300
負 担 金	228,500	232,533	△ 4,033
委 託 費	2,840,620	2,837,590	3,030
手 数 料	124,890	422,462	△ 297,572
雑 費	187,240	285,702	△ 98,462
経 常 費 用 計	821,336,298	852,065,139	△ 30,728,841
評価損等調整前当期経常増減額	47,182,173	19,412,175	27,769,998
基 本 財 産 評 価 損 益	0	0	0
特 定 資 産 評 価 損 益	0	0	0
投 資 有 価 証 券 等 評 価 損 益	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	47,182,173	19,412,175	27,769,998
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 経常外収益	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	31,505	5	31,500
② 訴訟関連損失	1,500,000	0	1,500,000
③ 雑損失	198,747	101,064	97,683
経 常 外 費 用 計	1,730,252	101,069	1,629,183
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 1,730,252	△ 101,069	△ 1,629,183
税引前当期一般正味財産増減額	45,451,921	19,311,106	26,140,815
法人税、住民税及び事業税等	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	45,451,921	19,311,106	26,140,815
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	762,923,791	743,612,685	19,311,106
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	808,375,712	762,923,791	45,451,921
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	808,375,712	762,923,791	45,451,921

資料 整備協会

(2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州国際技術協力協会（以下「協力協会」という。）は、北九州市及び周辺地域に蓄積された産業技術をもとに、必要な調査研究を進めるとともに、開発途上国等に対する国際協力や技術協力などを通じて地球規模での環境保全を推進し、ひいては人類社会の持続可能な発展に寄与することを目的として、昭和55年7月14日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

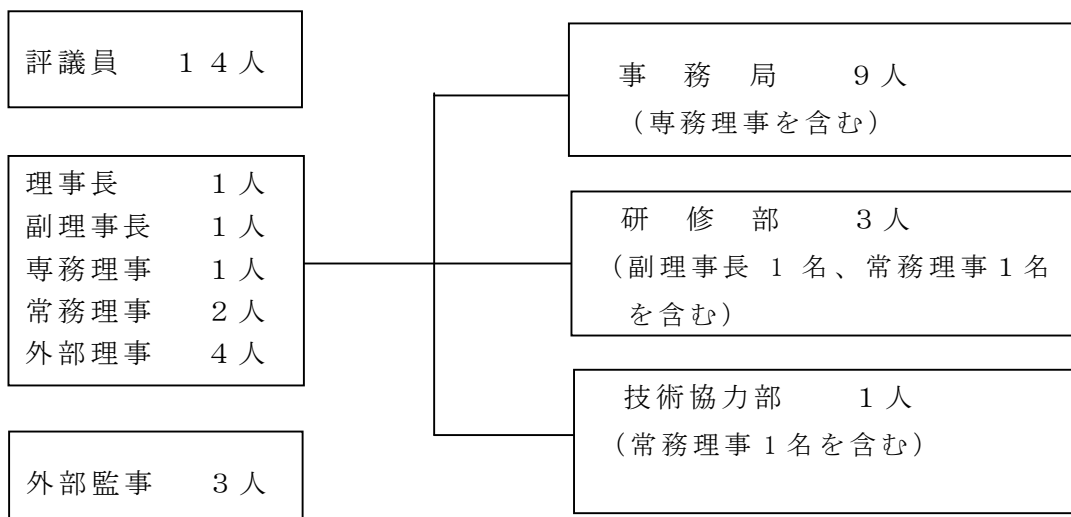
協力協会は、前記の事業目的を達成するため、関係機関と連携しながら、開発途上国等の研修員を対象とした研修カリキュラム・教材の整備・改善や研修コースの設定、実施をはじめ、専門技術者の海外派遣による技術協力などを行っているほか、国際親善を深めるための交流事業等を企画、実施している。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

協力協会の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成28年6月30日現在)



(注) 各所属の人数は兼務者を含む。

(エ) 市との関係

市は、協力協会の設立に当たり、基本財産5億1,376万円のうち、2億1,000万円(40.9%)を出捐するとともに、調査研究活動事業等に対する運営補助金として、平成27年度は、3,260万円を支出し、平成28年度は、6月末までに3,260万円の交付を決定している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

協力協会の平成27年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1億5,069万円のマイナスであり、前年度と比べると1億4,260万円減少した。これは、一般正味財産から指定正味財産へ1億4,400万円を振り替えたことによるものである。(当該振替え処理については、内閣府からの指導を踏まえ、平成28年度に一般正味財産へ戻す振替え処理を行うこととしている。なお、当該振替え処理を除くと、平成27年度の当期一般正味財産増減額は669万円のマイナスであり、前年度と比べると140万円増加している。)

収益は、前年度と比べ、162万円の減少となった。これは、JICAからの受託研修の増加により研修事業収益が増加したものの、プロジェクト数の減少などの影響で技術協力事業収益が減少したことなどによるものである。

費用は、上記振替え処理による経常外費用を除いた経常費用は、前年度と比べ302万円の減少となった。これは、海外出張の減により旅費が減少したことや、職員の減員により人件費が減少したことなどによるものである。

平成27年度からは、事業の構造改革にも取り組んでおり、今後とも、関係機関等との緊密な連携のもと研修事業や技術協力事業の充実強化を図り、国際技術協力をより一層推進することを期待する。

表1 業務実績（平成27年度）

【研修事業】

海外から研修員を受け入れ、環境管理、省・新エネルギー等の技術研修を実施した。JICA研修35コースを実施、324名の研修員が参加した。

区分	No.	コース名	参加 国数	研修 員数
環境管理	1	産業環境対策	4	5
	2	大気汚染源管理	4	10
	3	廃棄物管理技術（応用・技術編）A	6	6
	4	廃棄物管理技術（応用・技術編）B	7	7
	5	コンポスト事業運営（A）	5	7
	6	コンポスト事業運営（B）	6	10
	7	環境教育	11	12
	8	イラク産業環境対策における能力開発	1	12
水資源・ 処理	1	下水道システム維持管理（B）	7	9
	2	水環境行政	8	10
	3	下水対策能力向上	1	8
	4	ベトナム下水道経営	1	10
生産技術 ・地場産 業活性化	1	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略B	6	10
	2	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略C	7	9
	3	職業訓練の運営・管理と質的強化C	5	7
	4	中南米地域中小企業・地場産業活性化	9	10
	5	アフリカ地域 実践的電気・電子技術者育成	8	9
	6	アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化（A）	4	10
	7	アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化（B）	6	8
	8	イラン中小企業のマーケティング能力強化	1	12
省・新エ ネルギー	1	インド省エネルギー技術	1	11
	2	イラン省エネルギー・再生可能エネルギー	1	9
	3	省エネルギー政策立案（C）	7	9
	4	太陽光発電技術	7	8
	5	民生部門省エネ推進（A）	8	8
	6	民生部門省エネ推進（B）	6	8
	7	高効率クリーン火力発電の推進（A）	7	7
	8	高効率クリーン火力発電の推進（B）	9	10
	9	青年研修 ヨルダン再生可能エネルギー	1	8
	10	青年研修 アフリカ再生可能エネルギー	9	14
	11	カザフ 産業部門の省エネルギー推進	1	12
保健衛生 他	1	食品衛生のための行政能力強化	10	12
	2	持続的な都市開発のための都市経営A	9	10
	3	持続的な都市開発のための都市経営B	6	7
	4	持続的な都市開発のための都市経営C	8	10

【技術協力事業】

海外への専門技術者派遣事業などを実施した。

(1) 中小企業海外展開支援

対象国・地域	実績
ベトナム北部	○北部地域（ハノイ・ハイフォン等）での生産委託先の開拓及び商品販路拡大の支援を行った。 ・北九州企業3社参加、商談件数10件

(2) JICA草の根事業（ハイフォン市製造業の技術力・経営管理能力向上プログラム）

取り組み項目	実績
生産管理能力・経営管理能力に関する人材育成	○キーマン育成を目的とした訪日研修を実施した。 ・ハイフォン工業職業短期大学教員3名、市職員2名、企業代表2名 ・経営管理、生産管理に関する講義と市内企業訪問・見学
個別企業診断・指導（生産技術力・管理能力向上）	○現地訪問5回、11社（17回）を診断・指導した。 ○北九州市マイスターの協力を得て、ハイフォン工業職業短期大学の機械科教員に対して、機械加工実技能力向上指導を実施した。
北九州企業との技術交流・商談会	○北九州企業（13社）の技術プレゼンテーションと商談を実施した。 ・来訪者：約700名、商談件数：延べ174件（来場企業：68社）
事業終了報告会	○ハイフォン工業職業短期大学で報告会を開催した。

(3) 技術指導・技術支援

対象国・内容	実績
ケニア 廃棄物管理	○「ケニア国ナイロビ市廃棄物管理能力向上プロジェクト（JICA）」の共同企業体の一員として、技術専門家のケニア派遣（現地指導）及び訪日研修の一部分担を実施した。
中国昆明市 水環境改善	○北九州市上下水道局と共に昆明市填池北岸水環境総合改善工程建設管理局を訪問し、「フォローアップ調査」を実施した。 ・排水処理場の適切な運営・管理状況視察 ・填池の湖水水質改善への取り組み状況ヒアリング

(4) 委託研修

研修名	関係箇所	実績
日中大气環境改善研修	北九州市環境国際戦略部	○北九州市が実行する訪日研修を実行した。 ・上海市訪日研修 12名 ・武漢市訪日研修 6名 ・天津市訪日研修 15名
自治体職員受入れ研修	北九州市環境局・上下水道局	○受入れ研修員に関する事務処理を実施した。 ・各局1名

(5) コンサルティング事業

案件名	実績
ハイフォン市における高濃度有機排水を対象とした新開発排水処理システムの案件化調査（ベトナム）	○JICA の 2015 年度第 2 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査に企画書を提出し、採択された。
発電所・ダム等産業インフラ設備に関する非破壊検査技術の高度化と人材育成に向けた案件化調査（インドネシア）	○JICA の 2015 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査に企画書を提出したが、不採択となった。
バイオトイレ普及システムの案件化調査（スーダン）	○JICA の 2016 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査への応募に向けて検討してきたが、検討商品がスーダン国の低湿度には不適と判明し、適応対象国を見直すことになった。
乾式選炭技術システム普及促進（モンゴル）	○JICA の 2015 年度第 2 回民間技術普及促進事業への応募に向けて検討してきた。事前相談での JICA の評価は高かったが、本技術の国内実績がないため NEDO の普及実証事業の結果を待つこととした。

(6) 技術支援・調査

案件名	関係箇所	実績
アジアものづくりサポート推進事業	北九州市新成長戦略推進室	○JICA の 2015 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査応募に関して技術支援を行ったが、案件は不採択となった。 ○新成長戦略推進室からの委託により、「O&M事業の海外展開可能性調査及び市内企業の設備診断技術保有状況調査」を実施した。

【国際親善交流事業】

海外研修員を対象とした国際親善交流事業を実施した。

(1) 親善交流プログラム

プログラム	実績
ホームビジット	○研修員を登録ホストファミリーの家庭に招き、日常生活の中でお互いの伝統や文化、生活習慣等に触れる機会を設け、国際親善を図る日帰りの交流事業を実施した。 ・4回実施、27カ国31名参加、ホストファミリー24家庭
バスハイク	○北九州市内外の観光地を案内することによって、日本の歴史や文化に触れてもらうことを目的として、バスハイクを実施した。
研修員歓迎パーティ	○研修員の歓迎パーティの目的も兼ね、西日本工業倶楽部を訪問し、施設見学や夕食会とあわせ、邸内で茶道を体験する「西日本工業倶楽部の夕べ」を実施した。
ギラヴァンツ北九州サッカー観戦	○北九州を本拠地とする唯一のプロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の観戦応援プログラムを実施した。
北九州町歩き	○北九州での生活に馴染んでもらい、また北九州をより良く知ってもらうことを目的に、北九州の見所を巡る「町歩き」プログラムを実施した。
ボーリング大会	○研修員に気軽に参加してもらい、交流を深めるための親善プログラムとして、ボーリング大会を開催した。
地元企業交流会	○地元企業から、英語に触れる機会の少ない若手社員のために研修員との交流会を設けさせて欲しいとの提案があり、すしパーティを開催した。

(2) 英文生活情報誌の配布

毎年改訂発行している生活情報冊子「Let's Enjoy Kitakyushu!」を研修生全員に配布した。

(3) 記念写真CD・メッセージフォト作成・贈呈

(4) グリーティング電子メール送付

グリーティングメール送信件数：3,051通

閉講式写真送付メール送信件数：326通

【広報活動】

(1) 季刊誌「KITAニュースの発行」

年4回（日本語版：7月と1月、英語版：4月と10月）発行した。

(2) ホームページの更新

最新記事の掲載・更新などを適宜行い、活動内容などを紹介した。

表2 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	36,622,457	32,952,325	3,670,132
未収金	52,020,456	63,468,903	△11,448,447
前払金	155,975	94,785	61,190
立替金	38,825	22,700	16,125
流動資産合計	88,837,713	96,538,713	△7,701,000
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	25,242,919	25,242,919	0
投資有価証券	488,517,081	488,517,081	0
基本財産合計	513,760,000	513,760,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,196,519	5,255,567	△1,059,048
システムインフラ整備資産	0	2,160,000	△2,160,000
35周年記念事業準備資産	0	2,299,200	△2,299,200
特定資産合計	4,196,519	9,714,767	△5,518,248
(3) その他固定資産			
建物付属設備	551,588	623,534	△71,946
什器備品	1,883,273	2,849,873	△966,600
ソフトウェア	17,395,650	20,673,180	△3,277,530
電話加入権	371,808	371,808	0
長期前払費用	233,496	293,112	△59,616
その他固定資産合計	20,435,815	24,811,507	△4,375,692
固定資産合計	538,392,334	548,286,274	△9,893,940
資産合計	627,230,047	644,824,987	△17,594,940
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,489,566	19,665,457	△7,175,891
前受金	0	1,123,000	△1,123,000
預り金	1,104,441	2,468,159	△1,363,718
賞与引当金	1,834,000	1,978,000	△144,000
未払消費税等	2,032,200	2,068,600	△36,400
流動負債合計	17,460,207	27,303,216	△9,843,009
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,196,519	5,255,567	△1,059,048
固定負債合計	4,196,519	5,255,567	△1,059,048
負債合計	21,656,726	32,558,783	△10,902,057
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	144,000,000	0	144,000,000
(うち基本財産への充当額)	(144,000,000)	(0)	(144,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	461,573,321	612,266,204	△150,692,883
(うち基本財産への充当額)	(369,760,000)	(513,760,000)	△144,000,000
(うち特定資産への充当額)	(0)	(4,459,200)	△4,459,200
正味財産合計	605,573,321	612,266,204	△6,692,883
負債及び正味財産合計	627,230,047	644,824,987	△17,594,940

表3 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで、単位：円)

科目	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,964,142	6,113,163	△1,149,021
事業収益			
研修事業収益	149,524,526	126,332,973	23,191,553
技術協力事業収益	37,461,311	61,205,410	△23,744,099
事業収益計	186,985,837	187,538,383	△552,546
受取補助金等			
北九州市補助金	32,600,000	32,600,000	0
その他助成金	150,000	150,000	0
受取補助金等計	32,750,000	32,750,000	0
雑収益			
受取利息	511	4,777	△4,266
雑収益	130,870	45,410	85,460
雑収益計	131,381	50,187	81,194
経常収益計	224,831,360	226,451,733	△1,620,373
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	12,144,000	14,004,000	△1,860,000
職員人件費	10,447,154	12,135,270	△1,688,116
賞与引当金繰入	1,226,800	1,540,200	△313,400
退職給付引当金繰入	101,535	335,601	△234,066
嘱託等人件費	40,672,136	40,718,432	△46,296
諸謝金	58,856,756	56,664,317	2,192,439
広報費	1,328,975	1,399,839	△70,864
材料費	7,163,807	8,307,417	△1,143,610
旅費交通費	27,289,203	34,031,643	△6,742,440
通信費	1,053,565	1,203,529	△149,964
賃借料	6,895,318	7,061,266	△165,948
翻訳通訳料	13,680,268	10,554,631	3,125,637
印刷製本費	2,749,821	2,828,559	△78,738
光熱費	972,453	1,078,716	△106,263
修繕料	1,300,320	1,083,240	217,080
減価償却費	7,683,053	7,065,656	617,397
租税公課	3,371,700	2,638,350	733,350
研修費会費	4,215,421	2,398,390	1,817,031
事務用品費	1,328,843	1,671,530	△342,687
システムインフラ整備費	3,154,113	3,119,607	34,506
35周年記念事業費	2,871,820	2,235,340	636,480
雑費	689,568	2,119,595	△1,430,027
事業費計	209,196,629	214,195,128	△4,998,499
管理費			
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
職員人件費	6,524,586	8,649,301	△2,124,715

賞与引当金繰入	607,200	437,800	169,400
退職給付引当金繰入	322,417	230,965	91,452
嘱託等人件費	3,057,334	2,235,128	822,206
諸謝金	2,181,955	976,816	1,205,139
広報費	715,603	689,473	26,130
旅費交通費	822,408	1,043,148	△220,740
通信費	226,129	178,999	47,130
賃借料	1,162,976	1,011,526	151,450
翻訳通訳料	71,207	99,439	△28,232
印刷製本費	52,790	54,864	△2,074
光熱費	240,485	276,148	△35,663
修繕料	1,058,400	6,480	1,051,920
減価償却費	230,827	137,983	92,844
租税公課	41,260	58,360	△17,100
研修費会費	607,910	604,380	3,530
事務用品費	7,633	67,262	△59,629
システムインフラ整備費	176,218	172,384	3,834
雑費	2,924,276	2,121,622	802,654
管理費計	22,327,614	20,348,078	1,979,536
経常費用計	231,524,243	234,543,206	△3,018,963
当期経常増減額	△6,692,883	△8,091,473	1,398,590
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指定正味財産への振替額	144,000,000	0	144,000,000
経常外費用計	144,000,000	0	144,000,000
当期経常外増減額	△144,000,000	0	△144,000,000
当期一般正味財産増減額	△150,692,883	△8,091,473	△142,601,410
一般正味財産期首残高	612,266,204	620,357,677	△8,091,473
一般正味財産期末残高	461,573,321	612,266,204	△150,692,883
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額	144,000,000	0	144,000,000
当期指定正味財産増減額	144,000,000	0	144,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	144,000,000	0	144,000,000
III 正味財産期末残高	605,573,321	612,266,204	△6,692,883

資料 協力協会

(3) 株式会社北九州ウォーターサービス

ア 事業の概要

(ア) 目的

株式会社北九州ウォーターサービス（以下「会社」という。）は、北九州市と民間企業が共同出資し、行政出資団体の強みと株式会社の強みを活かした公民共同事業体として、「北九州市と国内外の上下水道事業体の発展と豊かな水環境の創造を支援する新たな担い手」となることを目指して、平成27年12月1日に設立された法人である。

(イ) 現況

会社は、前記の事業目的を達成するため、上下水道施設の運転整備等の受託事業を実施している。

なお、会社設立から平成28年3月までの4ヶ月間は、一般財団法人北九州上下水道協会（以下「上下水道協会」という。）からの事業譲渡に向けた準備や組織体制づくりなどを行っており、平成28年4月1日に事業を開始した。

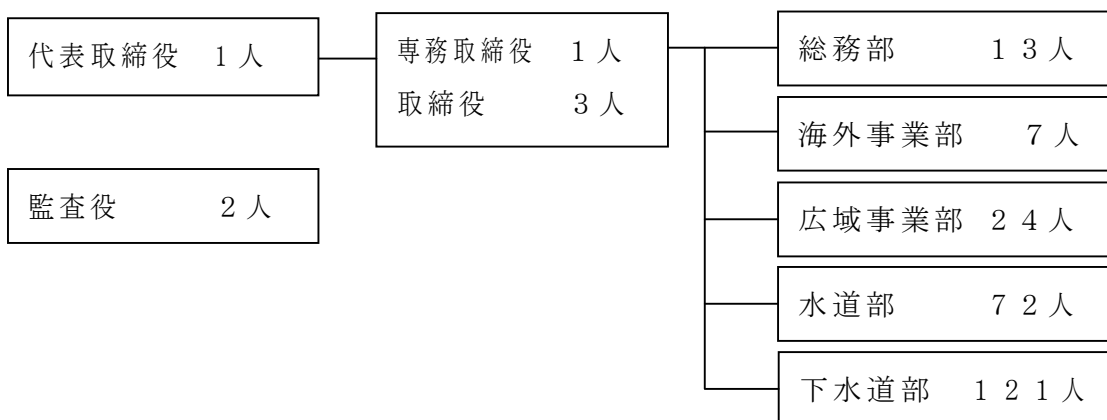
業務の実施状況は、表1のとおりである。

また、損益計算書、貸借対照表及び株主資本等変動計算書は、表2、表3及び表4のとおりである。

(ウ) 組織

会社の組織は、次のとおりである。

（平成28年6月30日現在）



(エ) 市との関係

市は、会社の設立に当たり、資本金1億円のうち5,400万円(54%)を出資している。

また、平成28年度は6月末までに委託料3億7,172万円を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務の執行は、おおむね適正に処理されていた。

会社の平成27年度の収支状況を見ると、設立初年度で事業をおこなっていないことなどから、966万円の経常損失となっている。

また、973万円の当期純損失を計上し、平成27年度末の累積損失(繰越利益剰余金のマイナス)も同額である。

平成28年4月1日の事業開始に伴い、上下水道協会から事業譲渡された業務に加え、宗像地区水道施設維持管理等業務を受注しており、一定の収益は確保できる見込みであるが、設立間もない会社であり、当面は安定的な経営基盤確立に向けた取り組みを進めることを期待する。

表1 業務実績

平成28年度（4月1日～6月30日）

部門	業務名	内容
海外事業部	北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局	会員サービス、総会・セミナー等の開催、広報啓発等の事務局業務。
	海外水ビジネス	海外の開発途上地域の水道水の安定供給・下水の適正処理に係るコンサルティング。
	国際協力業務	上下水道事業に係る海外での調査及び海外研修員の受入支援。
広域事業部	宗像地区水道施設維持管理等	宗像地区の送配給水施設の維持管理、浄水場運転管理、建設改良工事等。
水道部	給水装置工事審査・検査等補助	給水装置工事の設計審査、検査等の補助。
	排水設備工事審査等補助	排水設備工事の審査等の補助、水洗化普及及び勧奨等。
	排水処理施設運転整備等	機械脱水処理施設（穴生・本城・伊左座）の運転整備等。
	井手浦浄水場運転監視等	浄水場運転監視の計画及び実施。 道原浄水場の整備業務、遠方監視の支援。
	沈澱池等洗浄	浄水場の沈澱池等、取水場の沈砂池の洗浄。
	竹馬川・貫川防潮水門監視	曾根浄化センター内モニターによる竹馬川防潮水門及び貫川防潮水門の運転監視等。
	福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助	試験及び更新講習に関する業務補助。 福岡県下水道協会の経理及び総会、幹事会等の事務補助。
	駐車場管理	水道・下水道事業に係る公有地を借り上げ、市民等駐車場として管理運営するもの。
下水道部	浄化センター中央操作及び新町・北湊浄化センター等運転整備等	5浄化センターの中央操作並びに2浄化センター及び関連ポンプ場11か所の運転整備。
	新町・北湊浄化センター薬品選定等	両センターの脱水機に使用する薬品の選定、調達及び在庫管理等。

※平成27年度は、事業計画作成、IT環境整備、企業会計システム構築、ホームページ立ち上げなど、本格稼働のための基盤整備を行った。

表 2 損益計算書

(単位：円)

科 目	平成 2 7 年度 決算額
売上高	0
売上原価	0
売上総利益	0
販売費及び一般管理費	34,436,632
営業損益	△ 34,436,632
営業外収益	24,777,924
受取利息	4,124
雑収入	24,773,800
経常損益	△ 9,658,708
税引前当期純損益	△ 9,658,708
法人税、住民税及び事業税	69,500
当期純損益	△ 9,728,208

表3 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	97,285,732	流動負債	21,133,140
普通預金	97,021,200	未払金	21,063,640
貯蔵品	253,750	未払法人税等	69,500
前払費用	10,152		
未収還付法人税等	630		
固定資産	14,119,200	負債合計	21,133,140
有形固定資産	2,116,800	(純資産の部)	
工具器具備品	2,116,800	株主資本	90,271,792
無形固定資産	11,359,200	資本金	100,000,000
ソフトウェア	11,359,200	利益剰余金	△9,728,208
投資その他資産	643,200	(その他利益剰余金)	△9,728,208
長期前払費用	638,124	繰越利益剰余金	△9,728,208
差入保証金	5,076		
		純資産合計	90,271,792
資産合計	111,404,932	負債・純資産合計	111,404,932

表4 株主資本等変動計算書

(平成27年12月1日～平成28年3月31日、単位：円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
	繰越利益 剰余金				
当期首残高	0	0	0	0	0
当期変動額					
新株の発行	100,000,000			100,000,000	100,000,000
当期純損益		△9,728,208	△9,728,208	△9,728,208	△9,728,208
当期変動額合計	100,000,000	△9,728,208	△9,728,208	90,271,792	90,271,792
当期末残高	100,000,000	△9,728,208	△9,728,208	90,271,792	90,271,792

資料 株式会社北九州ウォーターサービス

(4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団（以下「財団」という。）は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うとともに、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、もって市民生活の向上と市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的として、昭和51年4月1日に設立され、平成25年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

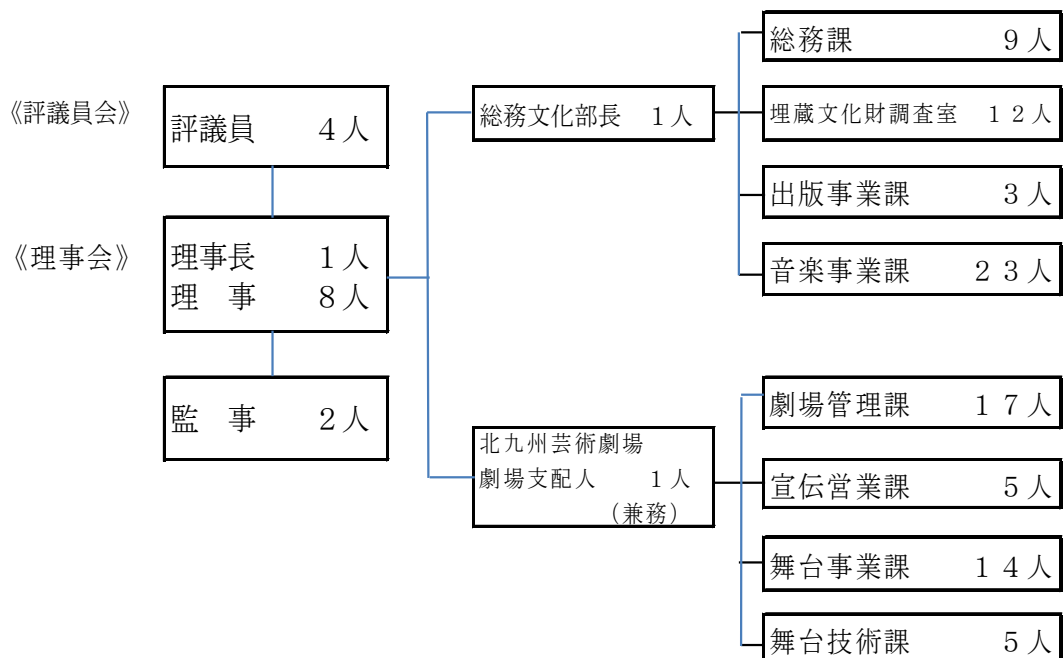
財団は、前記の事業目的を達成するため、芸術文化の振興に関する事業、芸術文化に関する情報の収集及び提供に関する事業、市から受託した芸術文化事業・文化施設等の管理運営事業、及び埋蔵文化財発掘調査事業等を行っている。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

財団の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成28年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、財団の設立に当たり、基本財産500万円を全額出捐しているほか、北九州芸術劇場や響ホールでの公演や文化情報提供に対する補助金を支出するとともに、芸術文化施設の管理運営、各施設を活用した文化創造事業及び埋蔵文化財の発掘調査研究事業等を委託している。

市は、平成27年度、財団に補助金9,544万円、委託料12億6,499万円を支出している。また、平成28年度は、6月末までに、補助金4,900万円、委託料3億7,560万円を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

財団の平成27年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は678万円であり、前年度と比べると488万円減少した。

収益は、前年度と比べ、1,466万円の増加となった。これは、自主事業公演収入の増加により文化振興事業収益が増加したことなどによるものである。

費用は、前年度と比べ、1,634万円の増加となった。これは、公演事業の増加により委託費や招聘旅費が増加したことなどによるものである。

財団は、市から北九州芸術劇場、響ホール及び大手町練習場の3つの芸術文化施設の指定管理者として指定を受け、管理及び運営を行っている。また、これらの施設を活用し、良質な舞台芸術や質の高い音楽の鑑賞機会の提供を実施し、芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

経営状況については、黒字が続いているものの、収益の大半が市からの受託事業収入や補助金収入であることから、チケット収入等の自主財源の拡大や効率的な事業運営等に向けた経営努力を図り、様々な事業を通じて、市民に優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、新たな芸術文化の創造を行い、市の芸術文化の振興に寄与していくことを期待する。

表1 業務実績

1 文化創造事業の実施

(1) 舞台芸術等の振興

ア 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
北九州芸術劇場プロデュース 「彼の地」	<p>[北九州公演] 北九州芸術劇場小劇場 2月2日～7日 8公演</p> <p>[東京公演] あうるすぽっと (東京都豊島区) 2月12日～14日 3公演</p>	<p>「青春の門 放浪篇」(平成19年)から始まる第一線で活躍する演劇人が北九州に滞在し、地元の俳優やスタッフと北九州らしさを感じさせる作品を創る北九州芸術劇場プロデュースシリーズ。平成27年度は平成25年度に製作・上演し大好評を博した「彼の地」を再演。地域で活躍する役者を出演者に起用するなどし、北九州だけでなく東京でも上演することで、“モノづくりの街・北九州”を市内外に発信した。</p> <p>【作・演出】桑原裕子(KAKUTA)</p>	<p>北九州公演 790人 東京公演 706人 合計 1,496人</p>
他4件			2,455人

イ 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
劇場塾 2015	<p>北九州芸術劇場中劇場、小劇場、創造工房 ほか</p> <p>① オープンレクチャー 9月12日 11月16日 2月23日</p> <p>② 地域文化の担い手育成クラス 11月16日、19日～22日</p> <p>③ 劇場基礎クラス 12月1日～2日</p>	<p>市民や公共ホール等で舞台芸術に携わるスタッフ等を対象に、専門家によるレクチャーを開催し、地域で文化・芸術の振興を担う人材育成と公共ホール間等のネットワークの形成を図った。</p> <p>① 地域文化の担い手育成クラス ② 劇場基礎クラス ③ オープンレクチャー</p>	<p>受講者 ① 延べ 132人 ② 延べ 60人 ③ 延べ 34人 合計 226人</p>
他8件			4,388人

ウ 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数

NODA・MAP 第19回公演「エッグ」	北九州芸術劇場 大ホール 4月16日～19日 5公演	2012年に予測不可能な展開で観客を熱狂の渦に巻き込んだ、日本を代表する劇作家・野田秀樹によるノダマップ「エッグ」公演の再演。初演を務めたメインキャスト8名とともに、東京、パリ、大阪、北九州にて上演。 【作・演出】野田秀樹 【音楽】椎名林檎 【出演】妻夫木聡、深津絵里、仲村トオル ほか	6,218人
他19件			20,569人

エ 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業提携等により、さまざまなジャンルの公演を実施した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
「No.9 -不滅の旋律-」	北九州芸術劇場 大ホール 11月13日～15日 4公演	天才音楽家ベートーヴェンが難聴という残酷な運命に苦しみ、それでも音楽に生きる希望を見だし、名曲を生み出していく半生を描く。 【演出】白井晃 【出演】稲垣吾郎、大島優子	4,869人
他8件			5,049人

オ 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して、「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
平成27年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	①[浅田政志とつくる『ドラマチックロケーション！@門司港』] ・撮影ワークショップ 門司港近郊 8月23日 ・写真展 門司港駅 9月19日 ～11月29日 リバーウォーク北九州 5階アートライブラリー 2月8日 ～3月20日 ほか6件	平成25年度までの「北九州演劇フェスティバル」の名称を変更し、リニューアル2年目。「ものづくりの都市」として栄えてきた地域資源や生活文化を活用しながら、街なかを舞台に「演劇」「ダンス」「音楽」等のプログラムを開催した。	6,459人

カ 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援したほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施した。（いずれの事業も、イ 学芸事業、ウ 公演事業、オ 北九州舞台芸術フェスティバルの各事業の一部再掲）

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
シアターラボ	北九州芸術劇場 創造工房 ほか ①[誰にでも書ける、 あなたにしか書けない 戯曲講座] 9月5日～6日 ②[本格的戯曲講座] 9月～1月	劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、創造工房での演劇作品の上演に挑む。	91人
他 4 件			9,993人

(2) 音楽文化の振興

ア 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
響ホール室内楽フェスティバル	響ホール 6月27日～28日	2日間にわたる、響ホール室内合奏団メンバーの弦楽合奏曲を中心としたコンサート。 1日目は迫昭嘉（チェンバロ）と高木綾子（フルート）を招き、地元声楽家とともにバッハの音楽世界に誘う「バッハはいかが!？」。 2日目は迫昭嘉（ピアノ）と地元木管・金管奏者による「五重奏の調べ」	808人

イ 公演事業

(ア) 響ホール企画事業

音楽専用ホールとしての響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
2015 響シリーズ第6弾 千住真理子・長谷川陽子・仲道郁代 女神たちの“愛のうた”	響ホール 1月31日	音楽の女神（ミューズ）たちが響ホールに登場。ソリストとして第一線で活躍する3人による、ヴァイオリンとチェロとピアノの豪華な共演。ソロ、デュオ、トリオの名曲を紡ぎだした。	662人
他 6 件			2,932人

(イ) 音楽ジャンルの拡大・会場等の多様化事業

音楽事業として手掛けるジャンルを拡大するとともに、企画内容に見合った会場での事業を実施するなど、事業の多様化を図った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
カニサレス・フラメンコ・カルテット	戸畑市民会館 大ホール 9月27日	フラメンコ、クラシック、ジャズ等の垣根を越えて活躍するスペイン人ギタリスト。今回はギター2人、パーカッション・ダンス2人のカルテット公演。	746人

ウ 提携・共催事業

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
パイプオルガン&北九州交響楽団コンサート	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 7月12日	ソレイユホールとの共同主催により、北九州市民の財産である同ホールのパイプオルガンを市民に広く周知することを目的に実施した。今回は北九州交響楽団とパイプオルガンが共演した。	1,386人
他4件			3,137人

エ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
響ホール 音楽アウトリーチ事業	[アウトリーチ・ワークショップ] 市内小学校 6月～2月 [ステージコンサート] 響ホールステージ上 7月4日 [研修会] 7月2日	響ホール音楽アウトリーチ事業として、平成18年度から平成23年度の登録アーティスト等により、小学校やその他施設等で訪問コンサートや響ホールステージ上でのコンサートを実施した。また、北九州音楽協会の会員による打楽器や声楽のワークショップを小学校で実施した。更に、アーティスト向け研修会を実施するとともに、オーディションを実施し、新たな登録アーティストを育成した。	1,851人
他8件			6,142人

(3) 芸術文化情報の収集及び提供事業

市民の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

事業名	時期・場所等	内容等
文化情報誌「CulCul・かるかる」の発行	毎月1日発行／8,000部	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事情報と文化施設の催事案内を掲載。
北九州芸術劇場&響ホール情報誌「情報誌Q」の発行	年4回発行／16,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介した。

芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド、インフォメーション、アートライブラリー、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行った。
北九州芸術劇場&響ホールチケットクラブQ会員制度	—	チケットの販売促進等のための会員制度。平成27年度より芸術劇場と響ホールの会員組織を統合して発足した。 会員数：4,510人（H28年3月31日現在）

(4) 地域文化振興事業

ア 公演事業

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
第45回北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場	各市民会館・北九州芸術劇場大ホール 5月19日～26日 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供した。	4,391人
他3件			3,590人

イ 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
第39回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 大ホール 7月5日	市内及び近郊の少年少女合唱団、約10団体の出演による合唱祭。	976人
他7件			2,646人

(5) 施設間の有機的な連携を図るための取り組み

響ホールと北九州芸術劇場をはじめ、他の文化施設等とも連携することで、異なるジャンルのアーティストが共に創作活動を行ったり、互いの施設の持つ専門性を持ち寄り事業を実施したりすることで、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数
ミュージックギャラクシー999～音楽の銀河へようこそ～ 響ホール×北九州芸術劇場×北九州市漫画ミュージアム 3館連携事業	[アウトリーチ] 市内小学校 2月10日	響ホールと芸術劇場、漫画ミュージアムの3館が連携し、本市出身の漫画家・松本零士氏の代表作「銀河鉄道999」をモチーフとし、音楽・美術などの要素を盛り込んだ企画を実施する。響ホールでのコンサートをフィナーレとし、アウトリーチなども含んだ4つの企画を行った。 【出演者・講師】 中川賢一（ピアノ） Quatuor B（サクソフォン四重奏） 大月ヒロ子（美術）	鞘ヶ谷小 36人
	[ワークショップ] あるある City B1 スタジオ 2月11日		あるあるシテイ 31人
	[モノレール公演] 北九州モノレール内 2月12日		【公演】 モノレール 66人
	[ホール公演] 響ホール 2月14日		響ホール 249人
他2件			合計 382人 1,093人

2 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施設名	平成 27 年度		平成 26 年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,824	289,878	1,541	249,451	283	40,427
響ホール	1,444	53,592	1,536	54,213	△92	△621
大手町練習場	8,310	112,208	8,265	114,601	45	△2,393
計	11,578	455,678	11,342	418,265	236	37,413

3 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで (指定管理)

4 埋蔵文化財の発掘調査研究

市などから委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存、普及活動等を行った。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業

事業名	遺跡名	区分	
折尾土地区画整理事業(堀川町地区)	菅原神社遺跡 2 区～4 区、5 区～8 区	発掘	整理
城野方形周溝墓石棺移築事業	城野遺跡		整理
9 号線(高野工区)街路事業	祇園町遺跡第 10 地点	発掘	
他 34 件		発掘 17 件	整理 17 件

(2) 報告書等の刊行

ア 埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行

- ・大門遺跡第8地点など 全17冊(16事業)

イ 埋蔵文化財に関する調査・研究

- ・年報、研究紀要 各1冊

(3) 埋蔵文化財に関する普及活動

ア 遺跡発掘報告会

・平成27年度に行った発掘調査のうち、話題性の高い4遺跡について市民対象に報告会を実施した。参加者81名。

イ 埋蔵文化財速報展

・最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を3回実施した。

ウ 市民向け及び小・中学生向け考古学講座

・市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を実施した。計16回、参加者延べ430名。

エ 現地説明会

・三郎丸遺跡第4地点ほか1か所で発見した遺構や出土した遺物を現地で学芸員が市民に解説。参加者137名。

(4) 埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や、出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は3,972名。

5 地域文化の情報提供

(1) 市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の刊行

事業名	時期等	内容等
文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行	毎月1日／8,000部発行	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など約320カ所に設置し無料配布した。また、ホームページや電子書籍としても情報発信した。

(2) 書籍の販売等

市からの受託を含め、各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売した。

(3) 文化施設の情報提供事業（ホームページ）

北九州市内の主要文化施設を紹介する北九州市文化芸術メディアサイト「CulCul・かるかる」を作成し、文化情報誌「CulCul・かるかる」掲載の記事や施設の催事などの記事情報を発信した。また、福岡市との連携事業として実施された「北九州市ウィンターミュージアム 2016」のホームページを作成した。期間中の事業参加文化施設の企画展、常設展についての情報を提供した。

表2 貸借対照表

(平成28年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	346,299,673	369,859,879	△23,560,206
未収金	89,834,800	67,842,565	21,992,235
前払金	3,337,272	426,320	2,910,952
立替金	31,151	0	31,151
流動資産合計	439,502,896	438,128,764	1,374,132
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定財産			
退職給付引当資産	13,314,337	12,076,426	1,237,911
特定財産合計	13,314,337	12,076,426	1,237,911
固定資産合計	18,314,337	17,076,426	1,237,911
資産合計	457,817,233	455,205,190	2,612,043
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	222,930,248	227,811,732	△4,881,484
未払消費税等	6,889,300	19,700,700	△12,811,400
未払法人税等	141,000	141,000	0
前受金	77,667,701	64,491,578	13,176,123
預り金	10,738,177	10,698,176	40,001
賞与引当金	22,179,667	23,112,094	△932,427
流動負債合計	340,546,093	345,955,280	△5,409,187
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,314,337	12,076,426	1,237,911
固定負債合計	13,314,337	12,076,426	1,237,911
負債合計	353,860,430	358,031,706	△4,171,276
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	103,956,803	97,173,484	6,783,319
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	103,956,803	97,173,484	6,783,319
負債及び正味財産合計	457,817,233	455,205,190	2,612,043

資料 財団

表3 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで、単位：円)

科 目	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,250	1,250	0
特定資産運用益	66,000	10,379	55,621
受取入会金	0	51,500	△51,500
受取会費	1,491,100	1,171,400	319,700
音楽友の会会費	0	410,000	△410,000
チケットクラブ会費	1,491,100	761,400	729,700
事業収益	1,607,274,375	1,588,792,298	18,482,077
指定管理事業収益	1,126,972,226	1,164,233,082	△37,260,856
市受託事業収益	138,022,505	180,417,057	△42,394,552
文化振興事業収益	186,687,200	105,207,825	81,479,375
出版事業収益	439,479	584,063	△144,584
埋蔵文化財事業収益	151,512,000	135,222,808	16,289,192
手数料収益	3,640,965	3,127,463	513,502
受取補助金等	141,632,603	149,913,786	△8,281,183
受取国庫補助金	36,236,263	30,551,556	5,684,707
受取地方公共団体補助金	95,441,340	109,692,230	△14,250,890
受取民間助成金	9,955,000	9,670,000	285,000
受取負担金	7,886,876	4,000,000	3,886,876
雑収益	1,423,021	1,171,380	251,641
その他雑収益	1,423,021	1,171,380	251,641
経常収益 計	1,759,775,225	1,745,111,993	14,663,232
(2) 経常費用			
事業費	1,721,235,944	1,705,664,887	15,571,057
役員報酬	7,336,520	7,308,340	28,180
給料手当	250,699,602	279,048,165	△28,348,563
臨時雇賃金	129,887,440	138,833,105	△8,945,665
退職給付費用	1,237,911	0	1,237,911
賞与引当金繰入	20,822,370	21,806,341	△983,971
福利厚生費	70,226,223	77,293,600	△7,067,377
会議費	34,071	4,460	29,611
旅費交通費	7,817,590	8,508,085	△690,495
招聘旅費交通費	30,049,196	20,450,562	9,598,634
通信運搬費	12,444,541	12,907,302	△462,761
消耗什器備品費	4,435,555	6,458,770	△2,023,215
消耗品費	19,915,955	20,557,671	△641,716
修繕費	9,013,817	7,528,817	1,485,000
印刷製本費	19,659,789	23,766,273	△4,106,484
燃料費	594,025	1,015,466	△421,441
光熱水料費	28,204,130	33,380,409	△5,176,279
賃借料	44,397,982	43,468,142	929,840
著作権使用料	994,613	752,864	241,749
保険料	1,935,620	1,815,020	120,600
諸謝金	13,392,000	11,909,598	1,482,402
租税公課	37,832,500	40,786,600	△2,954,100
支払負担金	425,785,738	442,459,008	△16,673,270
委託費	553,632,058	473,573,604	80,058,454
工事請負費	8,197,005	7,290,756	906,249

支払手数料	872,518	801,616	70,902
広告宣伝費	16,659,393	18,073,907	△1,414,514
諸会費	219,600	235,800	△16,200
ケータリング費	2,525,949	1,954,771	571,178
雑費	2,412,233	3,385,550	△973,317
雑損失	0	290,285	△290,285
管理費	31,614,962	30,843,003	771,959
役員報酬	424,000	437,000	△13,000
給料手当	15,541,928	16,679,488	△1,137,560
賞与引当金繰入	1,357,297	1,305,753	51,544
福利厚生費	3,264,471	3,239,917	24,554
会議費	54,523	60,261	△5,738
旅費交通費	219,800	202,100	17,700
招聘旅費交通費	74,920	10,380	64,540
通信運搬費	577,663	624,058	△46,395
消耗什器備品費	87,912	0	87,912
消耗品費	762,008	627,763	134,245
印刷製本費	195,372	338,472	△143,100
燃料費	26,645	32,570	△5,925
賃借料	4,435,294	3,867,291	568,003
保険料	100,360	59,300	41,060
諸謝金	1,867,500	1,836,000	31,500
租税公課	11,400	4,000	7,400
支払負担金	125,000	125,000	0
委託費	2,311,308	1,213,812	1,097,496
支払手数料	7,221	11,238	△4,017
諸会費	168,640	166,600	2,040
雑費	1,700	2,000	△300
経常費用計	1,752,850,906	1,736,507,890	16,343,016
当期経常増減額	6,924,319	8,604,103	△1,679,784
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	1,834,250	△1,834,250
退職給付引当金取崩益	0	1,363,510	△1,363,510
経常外収益計	0	3,197,760	△3,197,760
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	3,197,760	△3,197,760
税引前当期一般正味財産増減額	6,924,319	11,801,863	△4,877,544
法人税等	141,000	141,000	0
当期一般正味財産増減額	6,783,319	11,660,863	△4,877,544
一般正味財産期首残高	97,173,484	85,512,621	11,660,863
一般正味財産期末残高	103,956,803	97,173,484	6,783,319
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	103,956,803	97,173,484	6,783,319

資料 財団